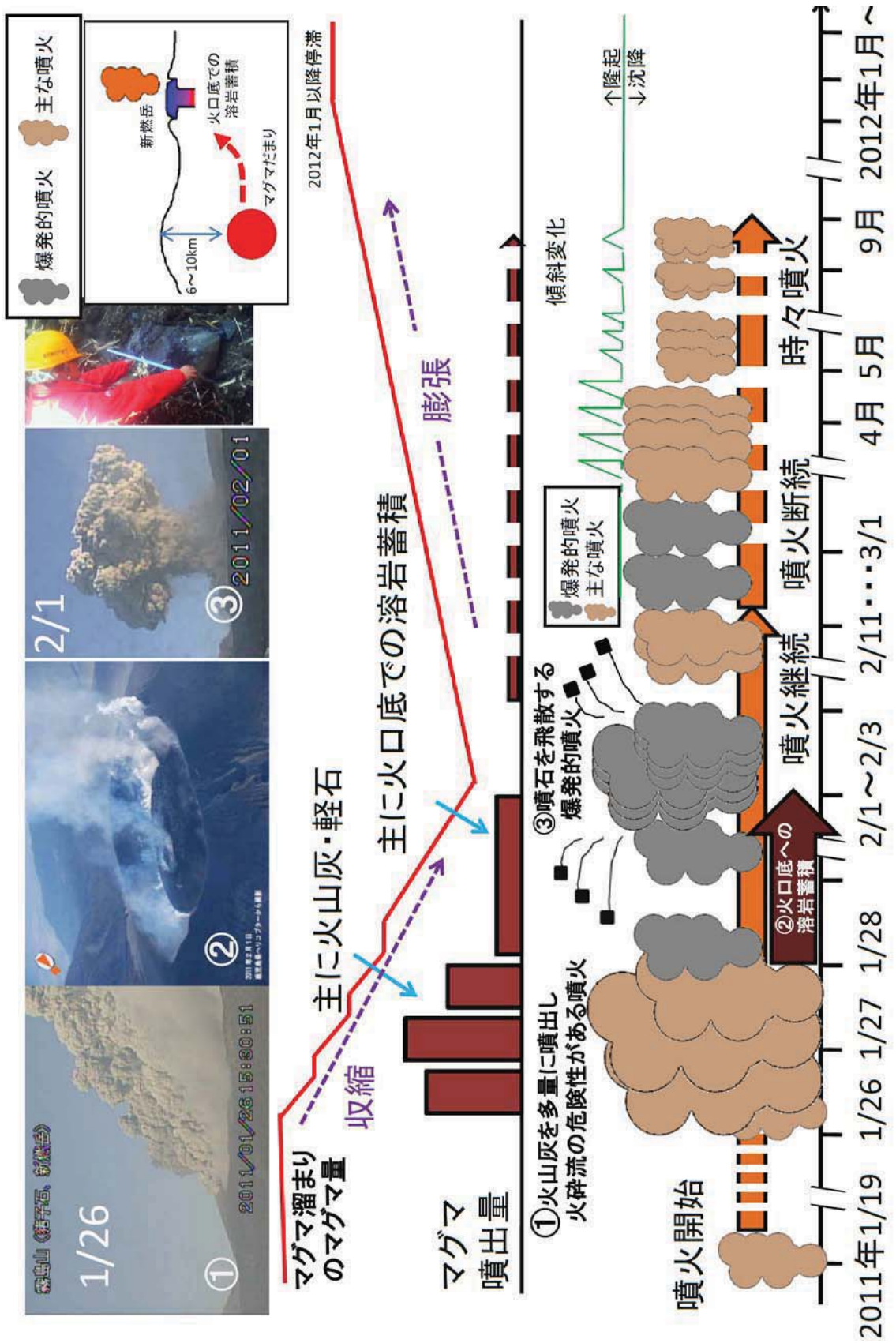


新燃岳噴火活動経過(2011年1月19日～2013年5月31日)



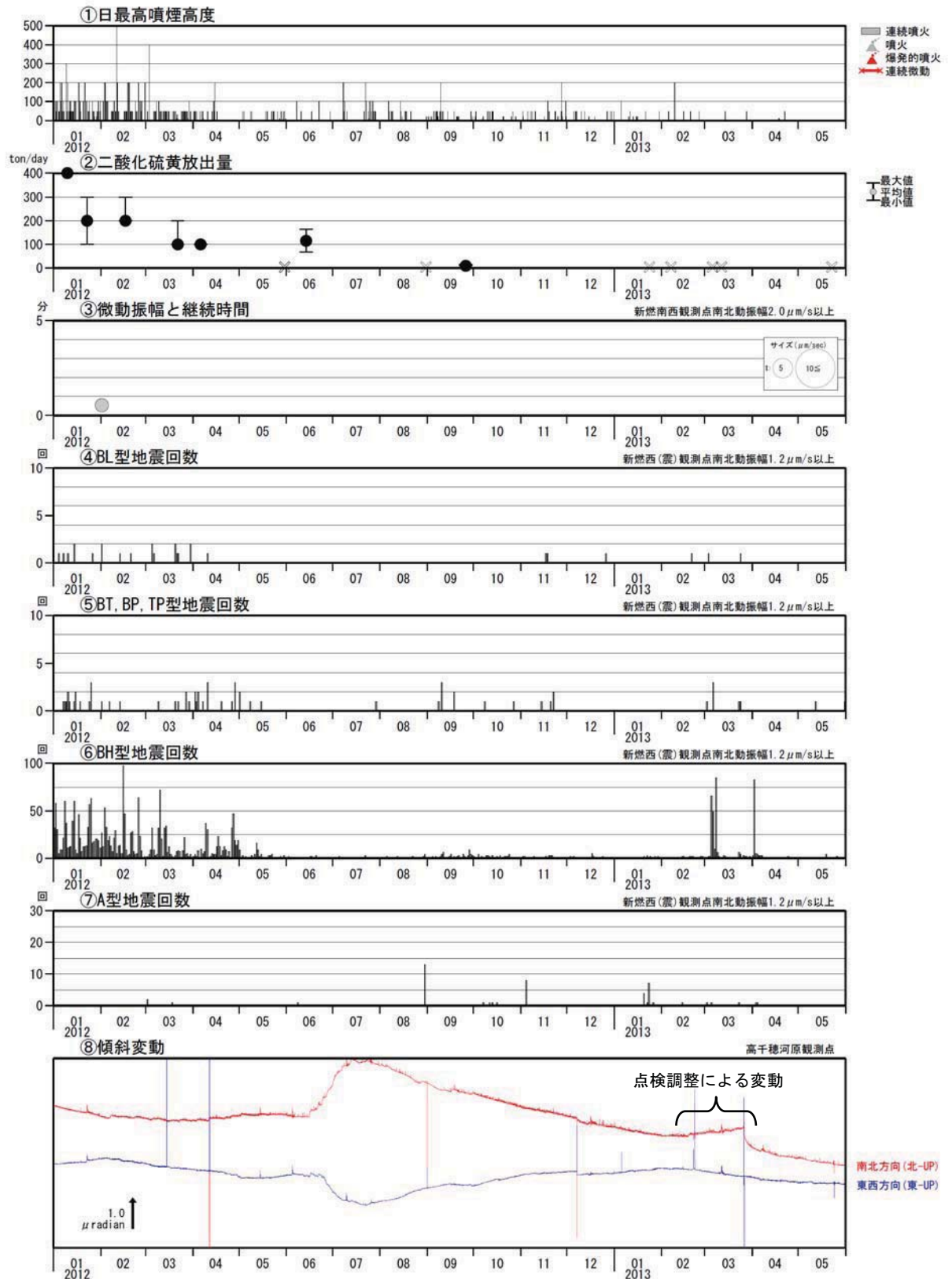


図 2 霧島山（新燃岳）最近約 1 年間の活動経過（2012 年 1 月 1 日～2013 年 5 月 31 日）

2011 年 6 月 16 日から 2012 年 2 月 17 日まで新燃岳南西観測点の障害のため、新燃西(震)及び霧島南(震)で地震回数を計数。(震)：東京大学地震研究所。

二酸化硫黄放出量グラフ中の×印は、二酸化硫黄が検出されなかった場合を示す。

- ・噴煙活動は静穏で、白色の噴煙が火口縁上 200m 以下で経過した。
- ・2 月 7 日、3 月 6 日及び 5 月 23 日に実施した現地調査では、二酸化硫黄は検出されなかった。
- ・3 月 5 日から 8 日及び 4 月 2 日に新燃岳直下を震源とする振幅の小さな BH 型地震が一時的に増加した。BH 型地震の回数は 2012 年 5 月以降概ね少ない状態で経過している。
- ・4 月 16 日と 5 月 3 日に大浪池西方付近を震源とする振幅の小さな A 型地震が一時的に増加した。

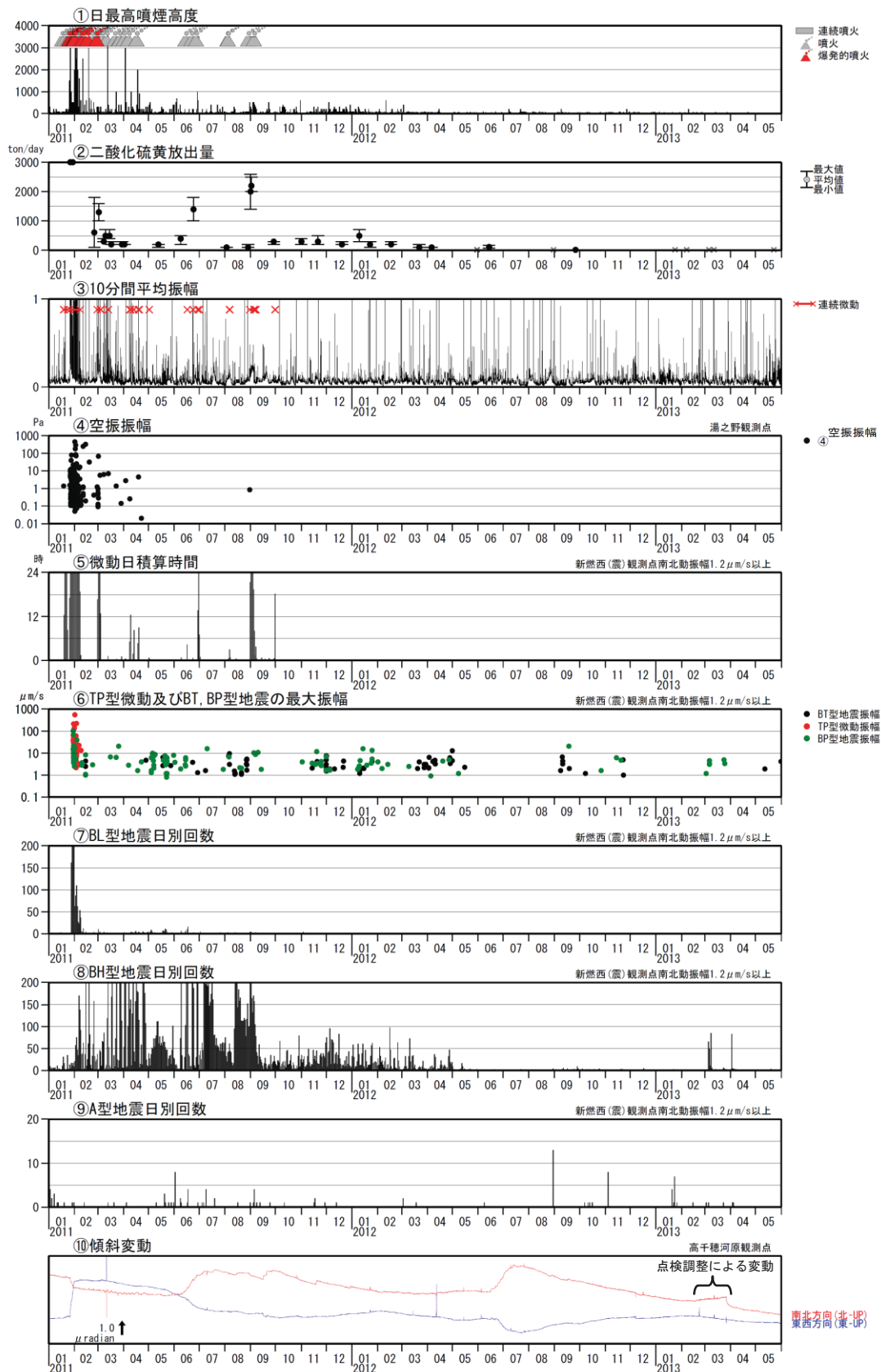


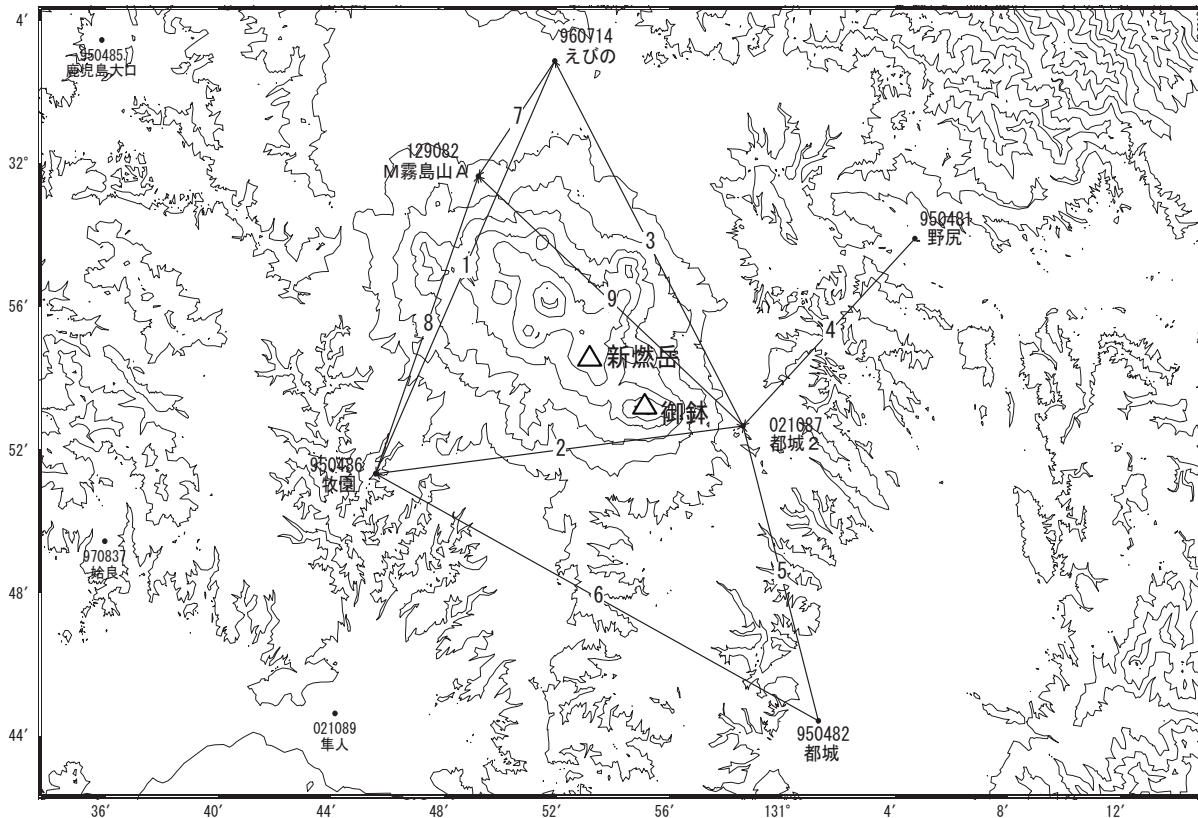
図5 霧島山（新燃岳） 2011年新燃岳噴火活動開始以降の活動経過
 (2011年1月1日～2013年5月31日)

2011年6月16日から2012年2月17日まで新燃岳南西観測点の障害のため、新燃西(震)及び霧島南(震)で地震回数を計数。(震)：東京大学地震研究所。
 二酸化硫黄放出量グラフ中の×印は、二酸化硫黄が検出されなかった場合を示す。

霧島山

霧島山周辺では、「えびの」－「牧園」、「牧園」－「都城2」の基線で、2012年5月頃からわずかな縮みの傾向が見られ、同年9月頃から停滞していたが、2013年4月頃からわずかな縮みの傾向が見られる。

霧島山周辺 GNSS連続観測基線図



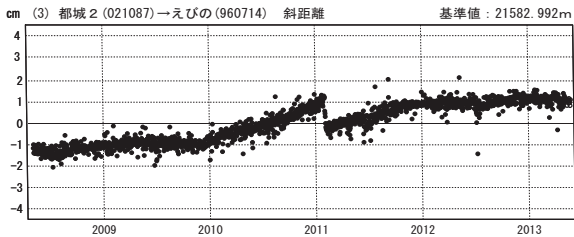
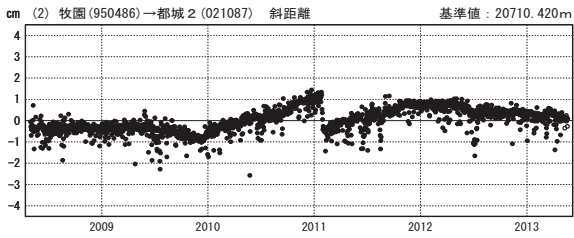
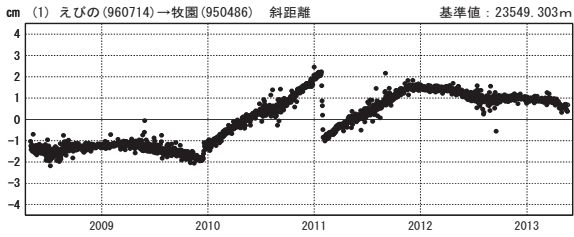
霧島山周辺の各観測局情報

点番号	点名	日付	保守内容
950486	牧園	19981211	アンテナ交換
		20080523	周辺伐採
		20100302	レドーム開閉・受信機交換
		20101102	周辺伐採
		20121204	アンテナ交換
960714	えびの	20080910	周辺伐採
		20111107	受信機交換
		20111222	受信機交換
		20120904	アンテナ・受信機交換
950482	都城	20101110	周辺伐採
		20121129	アンテナ・受信機交換
021087	都城2	20120904	アンテナ・受信機交換
950481	野尻	20110921	受信機交換
		20120228	アンテナ・受信機交換
109078	M霧島山	20110203	新設
129082	M霧島山A	20120829	新設(M霧島山より移転)

※[R3:速報解]は暫定値、電子基準点の保守等による変動は補正済み

基線変化グラフ

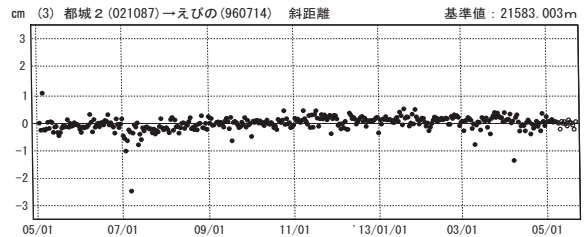
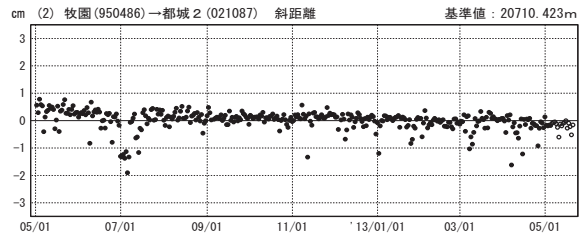
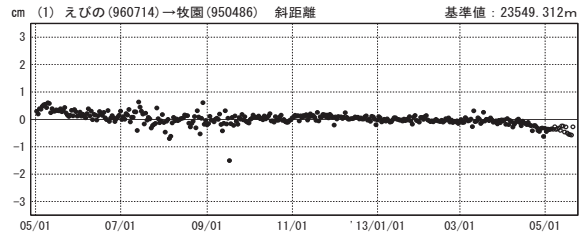
期間：2008/05/01～2013/05/20 JST



●---[F3:最終解] ○---[R3:速報解]

基線変化グラフ

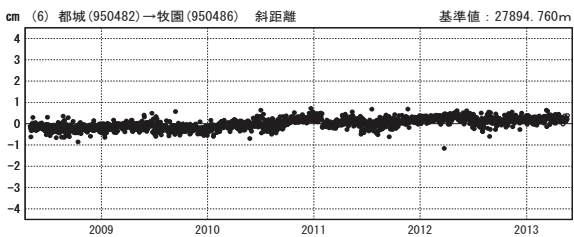
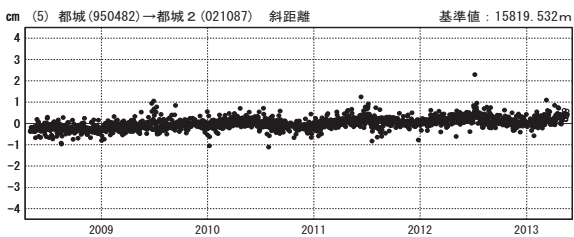
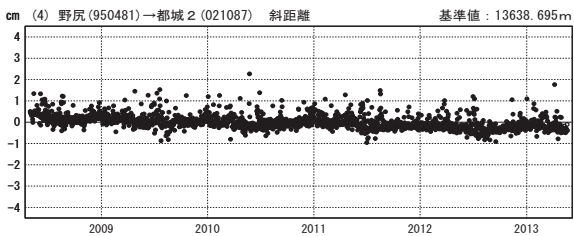
期間：2012/05/01～2013/05/20 JST



国土地理院

基線変化グラフ

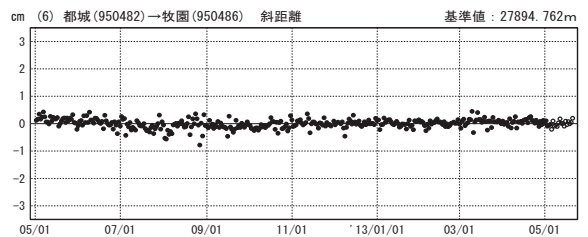
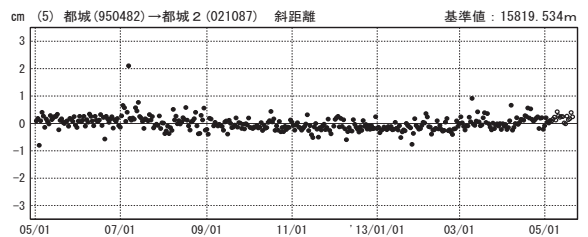
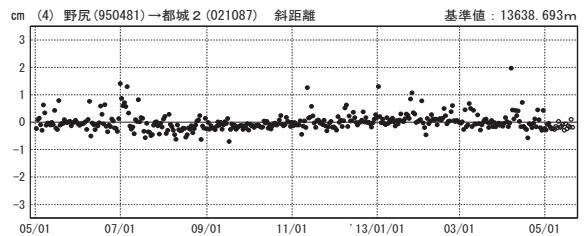
期間：2008/05/01～2013/05/20 JST



●---[F3:最終解] ○---[R3:速報解]

基線変化グラフ

期間：2012/05/01～2013/05/20 JST



国土地理院

※[R3:速報解]は暫定値、電子基準点の保守等による変動は補正済み

霧島山

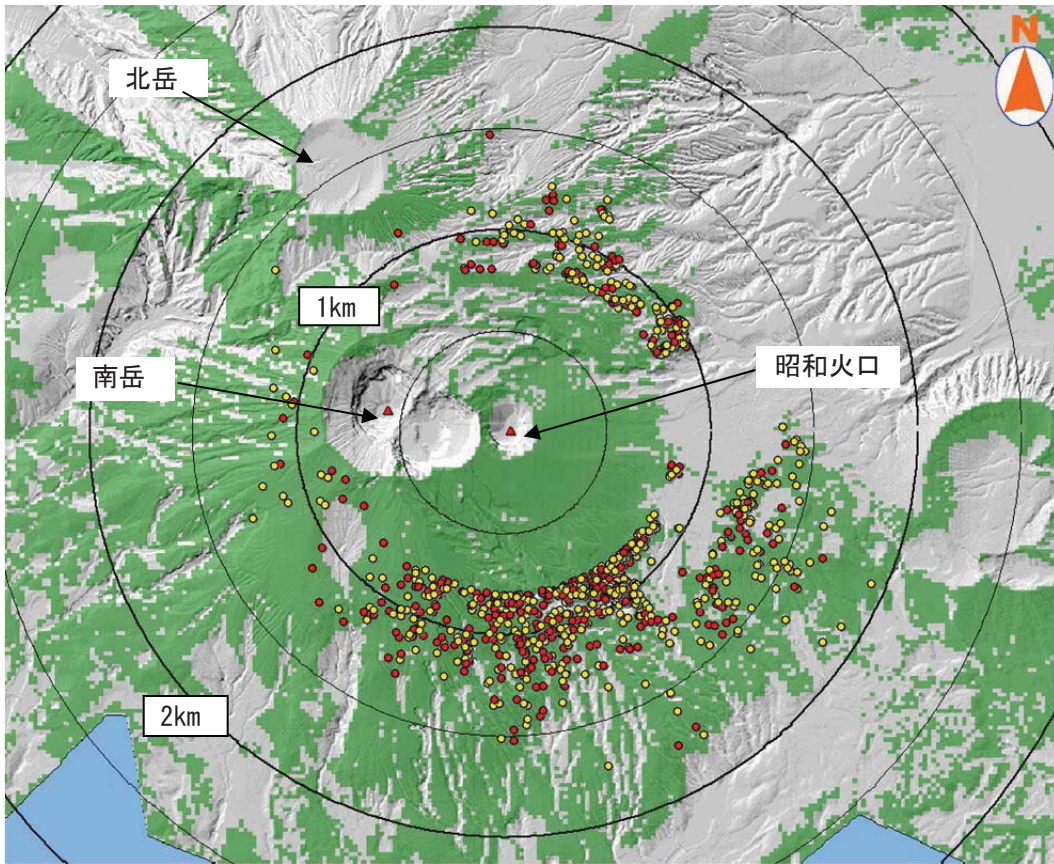


図 3 桜島 昭和火口から放出された大きな噴石の落下地点(2013年2月～5月31日)
爆発的噴火(計91例)について、遠望カメラ映像から噴石の落下地点を計測しプロットした(図中赤点)。同心円は昭和火口中心からの距離を示す。

昭和火口近傍に落下した噴石は計測せず、水平距離で概ね800m以上飛散したものを可能な限りプロットしている(1回の爆発的噴火に対し複数の噴石の落下位置を算出)。

黄色の点は2012年3月12日及び4月～9月の、赤色の点は2013年2月～5月31日の大きな噴石の落下地点を示す。緑色の領域は、早崎カメラ(大隅河川国道事務所設置)、海潟カメラ(大隅河川国道事務所設置)及び東郡元カメラのいずれかで噴石の落下が確認可能な範囲を示す。領域はカシミール3Dで算出した。噴石の計測は早崎赤外カメラ、海潟及び東郡元カメラで行った。

※地図の作成にあたっては、大隅河川国道事務所提供の数値地図(5mメッシュ)を使用した。

回

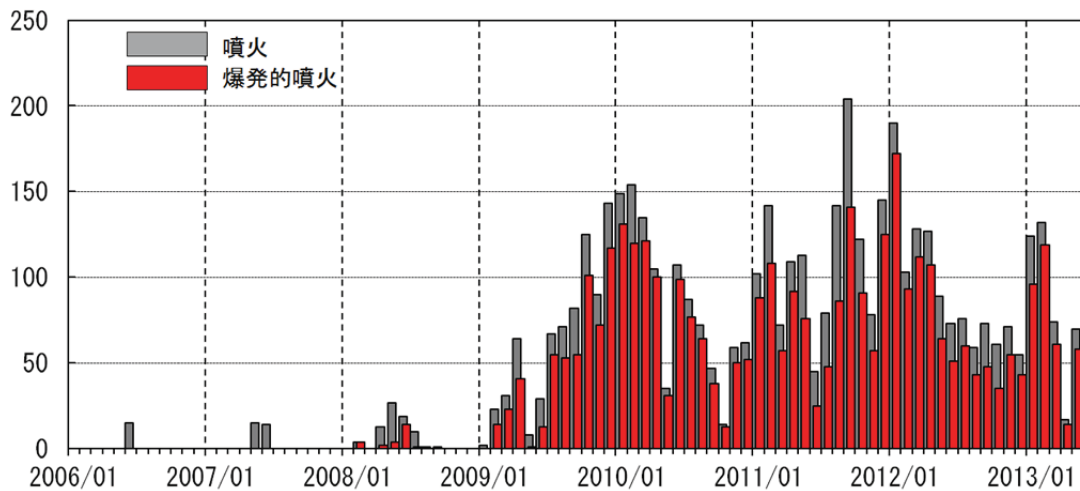


図 4 桜島 昭和火口の月別爆発的噴火回数(2006年1月～2013年5月)

爆発的噴火は、2月から3月中旬にかけて多い状態で経過したが、4月は一時的に減少した。

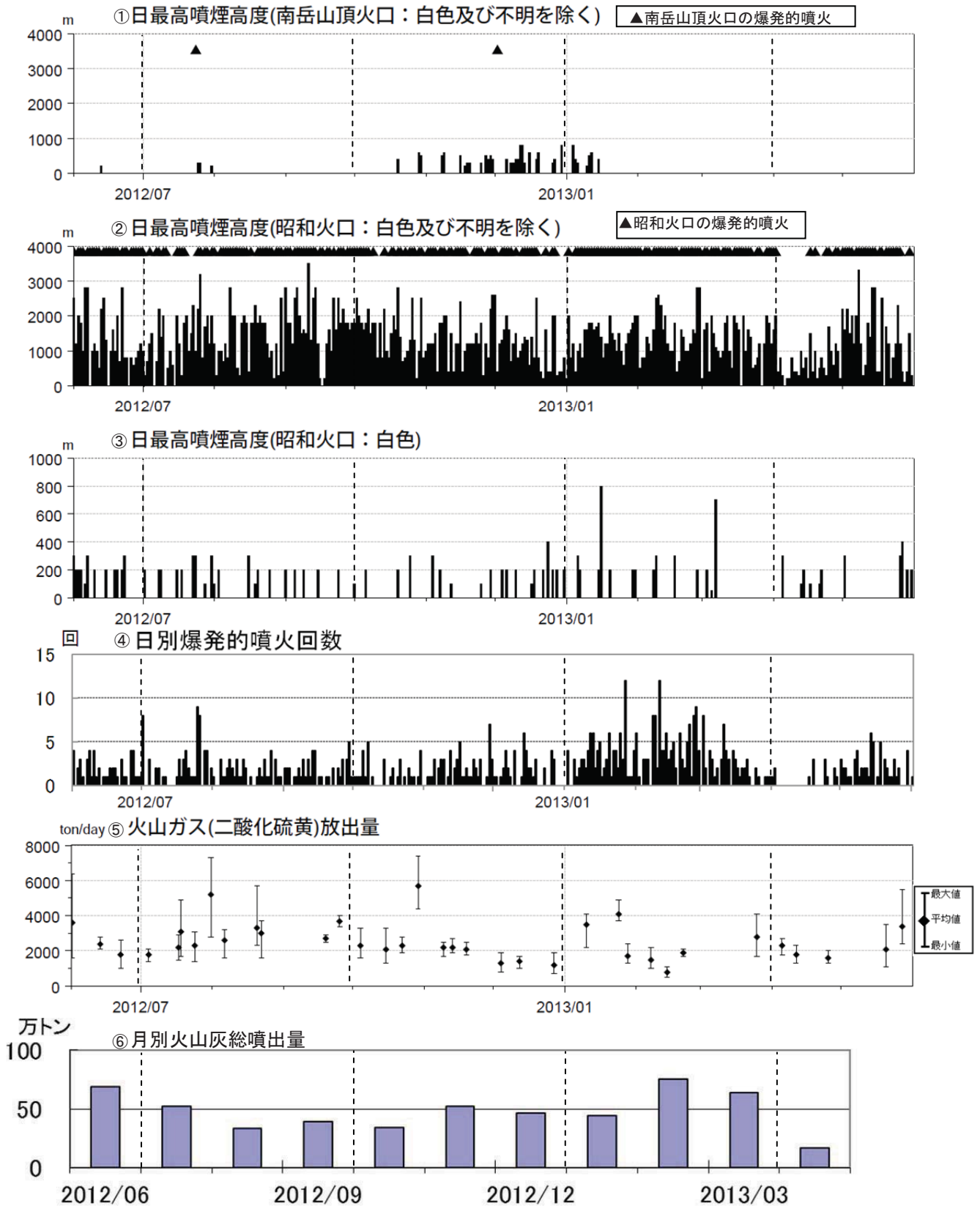


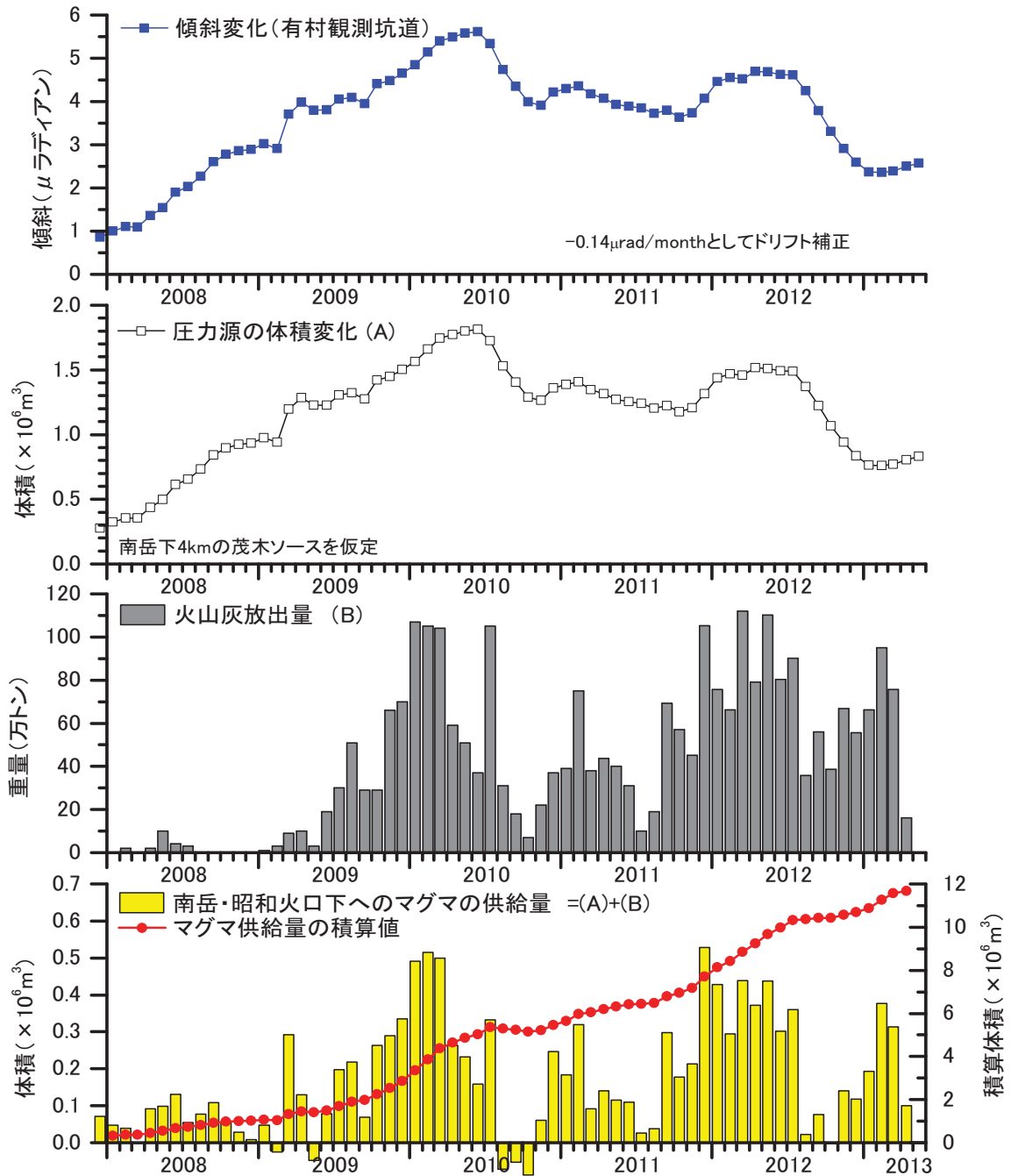
図 5 桜島 最近 1 年間の噴煙、火山灰、火山ガスの状況

(2012 年 6 月～2013 年 5 月 31 日)

< 2 月～5 月の状況 >

- ・ 昭和火口では、噴火は 293 回発生し、そのうち爆発的噴火が 252 回であった。
- ・ 南岳山頂火口では、噴火は発生しなかった。
- ・ 火山灰の月別の総噴出量は、2 月約 80 万トン、3 月約 60 万トンとやや多い状態で経過したが、4 月は約 20 万トンと減少した。
- ・ 二酸化硫黄の放出量は、概ね多い状態で経過した。

南岳山頂下へのマグマ供給量の見積もり



南岳山頂下へのマグマ供給量の見積もり

桜島